



2022年6月22日

投資家の皆様

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

「DWS ロシア・ルーブル債券投信(毎月分配型)/(年2回決算型)」

運用管理費用(信託報酬)引き下げについて

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弊社が設定・運用する「DWS ロシア・ルーブル債券投信(毎月分配型)/(年2回決算型)」(以下、「当ファンド」といいます。)について、2022年6月21日付で運用管理費用(信託報酬)を一時的に引き下げました旨、ご報告申し上げます。

引き下げ後の運用管理費用(信託報酬)、ならびに引き下げの背景については下記をご参照下さい。

なお今後、ロシア債券の取引が回復し、基本方針に沿った運用が可能になるとともに、当ファンドのお申込み受付を再開した場合には、運用管理費用(信託報酬)を従来の水準に戻す可能性があります。

今後とも弊社ファンドをご愛顧くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

<DWS ロシア・ルーブル債券投信(毎月分配型)/(年2回決算型)信託報酬>

		2022年6月20日まで	2022年6月21日以降
実質的な負担(①+②)		年率 <u>1.621%程度(税込)</u>	最大年率 <u>1.014%(税込)</u>
① 当ファンド		年率 <u>1.221%(税抜1.11%)</u>	年率 <u>0.814%(税抜0.74%)</u>
配分 (税抜)	委託会社	<u>0.38%</u>	<u>0.01%</u>
	販売会社	<u>0.70%</u>	<u>0.70%</u>
	受託会社	<u>0.03%</u>	<u>0.03%</u>
② マザーファンドを通じて 投資対象とする投資信託証券 <sup>注</sup>		実質年率 <u>0.40%以内</u>	最大年率 <u>0.20%</u>

注:マザーファンドを通じて投資対象とする投資信託の信託報酬について

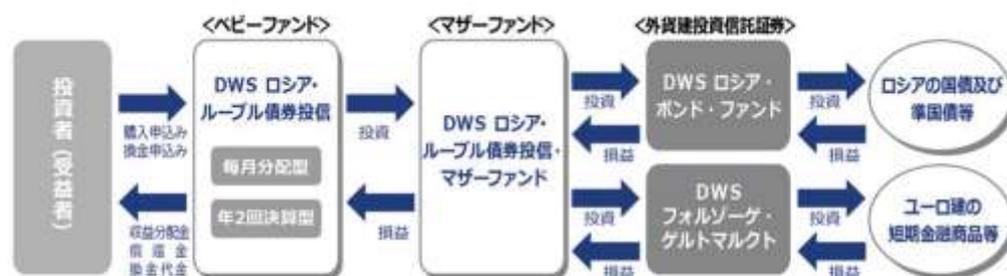
マザーファンドが投資する投資信託証券(「指定投資信託証券」といいます。)は「DWS ロシア・ボンド・ファンド(ロシアの国債及び準国債等に主に投資)」と「DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクト(ユーロ建の短期金融商品等に主に投資)」です。今回、「DWS ロシア・ボンド・ファンド」についてのみ信託報酬を0%に変更いたしました。

なお、マザーファンドを通じて投資対象とする投資信託証券の信託報酬は指定投資信託証券の投資割合により変動するため、最大で表示しております。

なお、2022年6月20日時点で「DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクト」のマザーファンドの純資産総額に対する比率は約0.004%です。

	主な投資対象	信託報酬	
		2022年6月20日まで	2022年6月21日以降
DWS ロシア・ボンド・ファンド	ロシアの国債及び準国債等	実質年率 <u>0.40%以内</u>	<u>0%</u>
DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクト	ユーロ建の短期金融商品等	年率 <u>0.20%</u>	年率 <u>0.20%</u>

(ご参考)当ファンドの仕組み



(注) 市況動向及び資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

### <信託報酬引き下げの背景>

当ファンドは、2022年2月28日以降、ご購入・ご換金のお申込みの受付を停止しております(スイッチングによるお申込み、定時定額のご購入等の自動買付分を含みます)。これは当ファンドのマザーファンドの主要投資対象「DWS ロシア・ボンド・ファンド」が、設定・解約の申し込みを停止したことに伴い、当ファンドの流動性が十分に担保できない可能性があることが主な要因です。

「DWS ロシア・ボンド・ファンド」の主要投資対象であるロシア債券については取引や決済が事実上困難な状態が継続しています。

ロシア中央銀行は、欧米諸国の対ロシア制裁への対抗措置として、非居住者に対し、ルーブル建て発行されているロシア国債の取引を停止しています。また、米ドルやユーロ等で発行されているロシア債券については、欧米諸国の対ロシア制裁の影響等から、正常な取引ができない状況が続いています。加えて、米財務省が米国人がロシア国債の元利払いを受け取る特例措置を失効させたこと等から、ロシア国債に対し、デフォルトの可能性も台頭しています。

以上を総合的に勘案すると、ロシア債券の取引や決済が通常の状態に戻るには時間を要し、それまでの間、「DWS ロシア・ボンド・ファンド」の設定・解約停止が継続すると思われます。

当ファンドの運営について、弊社ではこれまでロシア-ウクライナ情勢やロシア当局の判断に加え、欧米諸国の対ロシア制裁等、様々な要素を考慮し検討を重ねてまいりました。しかしながら、基本方針に沿った運用が困難な状態が今後も継続すると考えられること等から、2022年6月21日付にて、当ファンドの運用管理費用(信託報酬)のうち、委託した資金の運用等の対価である委託会社への配分を0.01%に、また「DWS ロシア・ボンド・ファンド」の運用報酬を0%に一時的に引き下げました。

以上